

静岡市立番町小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年6月14日(火)

一人一人が実際に体験することができて良かった！

静岡市立番町小学校の6年生121人が、古代の人々の暮らしや歴史について体験を通して学び、歴史の学習に興味をもつことを目的に、6年部の平沼先生が出前授業を計画し、発掘調査の話（地域の遺跡）、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの4つの体験活動を行いました。

埋蔵文化財センターの業務内容と縄文時代や弥生時代の暮らし、番町小学校周辺の遺跡について、興味深く聞いていました。

「昔のものがどこに保管してあるのかがわかった。」

発掘調査の話(地域の遺跡)



石器の試し切り体験



はじめは、旧石器時代や縄文時代・弥生時代などの古代の話をしながらか進めました。打製石器や磨製石器など石器の種類や、石器の役割など、詳しく説明しました。その後、黒曜石を使って、新聞紙や持参したキャベツなどの野菜くずの切れ味を試しました。

「普段は包丁を使っているけど、石で切るという、新しい体験ができて良かった。」「黒曜石の切れ味が良かった。」



土器の分類体験



縄文時代から古墳

時代までの簡単な時代の流れを説明した後、縄文土器・弥生土器・須恵器の完成品を見ながら、土器片を分類しました。土器の作り方を知ることで、色や厚さ、形、線の入り方などの違いがわかってきて、分類に迷った土器片も分けることができました。

「昔の人の知恵がすごいなあと思いました。」「似ている土器がいっぱいあって、分けるのが難しかった。」



「煙が立ったけど、火がつくところまでいかなかった。」「初めて火が起かせて良かった。」「昔の人みたいにできて良かった。」

火起こし体験

小雨の降るあいにくの天気でしたので、体育館通路で火起こしを行いました。はじめに舞きり法での火起こしのやり方を説明した後、デモンストレーションをしました。次に各班に分かれて火起こしです。力みすぎて弾み車を調子よく回せず、なかなか火種ができず苦労した班もあれば、2人1組で協力してリズムよく弾み車を回して火種を作ることができる班もありました。火種を慎重に火口の上ののせ、風向きを考えて慎重に何度も息を吹きかけると火が起きました。

先生方の感想

「授業内容と合っていてとても良かったです。番町小の身近な所についてもう少し聞けると更に良かったです。相談しながらのグループワークは、とても楽しそうでした。みんな協力しようとする姿が自然にできていました。」

